

ラビ

ラビはソフトなビロード状の感触をもった塗膜が得られる塗料です。形成被膜はソフトタッチの肌合いと優雅な色彩で、塗装物の意匠効果とイメージアップに極めて有効です。

◆特長

- 1.ソフトなビロード状の感触を有する塗膜が容易に得られます。
- 2.完全艶消で、角度による反射率の変化がほとんどなく、同一艶消状態に見えます。
- 3.独特の優雅な単彩色と多彩色が得られます。
- 4.素材面の粗さをカバーしますので塗装工程が簡素化可能です。

◆種類

- 1.ラビ(S)……………単彩色
- 2.ラビ(M)……………多彩色
- 3.ラビ(M)(F)……………多彩色・ウエットタッチ

◆使用法

- 1.塗料は使用前に充分攪拌し均一にしてください。
- 2.2液タイプのポリウレタン樹脂塗料ですので主剤、硬化剤の混合割合は正確に守って下さい。
- 3.専用のシンナーで希釈後60～80メッシュの金網で濾過して下さい。
- 4.希釈塗料の沈降及びそれに伴う色調ムラをなくするため時々攪拌して下さい。
- 5.素材によっては専用プライマーを要する場合があります。特に金属素材に塗装する場合は仕様が異なりますので別途ご相談下さい。
- 6.塗装後5～10分放置し、焼付乾燥して下さい。

・樹脂素材への塗装例

| 塗料名 | 硬化剤名 | シンナー名 | 混合希釈比 (質量比) | 塗装粘度 (秒/IHS・20℃) | スプレーガン 口径(mm) | 吹付圧力 (MPa) | 乾燥条件 |
|------|-----------|---------|------------------------------------|---------------------|------------------|---------------|-----------|
| ラビ各色 | ラビ硬化剤M-60 | No.7400 | 塗料(主剤) 100 硬化剤 25 シンナー 40～50 | 12～16 | 1.2～1.5 | 0.3～0.4 | 80℃×30min |

◆使用上の注意

- 1.主剤/硬化剤の混合割合は指定通り、正確に計って下さい。
- 2.硬化剤は空気中の水分と反応して固化する性質がありますので、密栓して冷暗所に保存下さい。
- 3.希釈には必ず専用シンナーを使用して下さい。専用シンナー以外を使用すると塗膜性能が出ない場合があります。
- 4.2液タイプの塗料は硬化剤混合後反応が進行しますので、混合した塗料は4時間以内に使い切って下さい。反応は温度が高いほど、また初期粘度が高いほど加速されます。

◆用途

- 1.車輻関係
- 2.精密機器
- 3.電気機器
- 4.理化学機器

◆容量

16kg、4kg

◆試験成績表

| 試験項目 | 試験条件 | 結果 |
|--------|---|----------|
| 付着性 | 1mm方眼100個、セロテープテスト(付着目数/碁盤目数) | 100/100 |
| 鉛筆硬度 | 三菱ユニ鉛筆使用 | H |
| 耐熱性 | 80℃×240h. | 良好 |
| 耐湿性 | 40℃、98RH%以上、240h | 良好 |
| 耐水性 | 沸騰水中に30min浸漬 | 良好 |
| 耐油性 | 60℃スピンドル油に30min浸漬 | 良好 |
| 耐酸性 | 0.1N H ₂ SO ₄ 水溶液、20℃で24h浸漬 | 良好 |
| 耐アルカリ性 | 0.1N NaOH水溶液、20℃で24h浸漬 | 良好 |
| 耐塩水噴霧性 | 5%食塩水、35℃、72h噴霧(クロスカットなし) | 良好 |
| 耐光性 | フェードメーター、200h後の色差 | ΔE=1.0以下 |

- 備考 1.素材：ABS板(150×50×1mm)
2.塗料：ラビ(M)(F) ブラック
3.乾燥条件：80℃×30min、常温放置1週間後供試
4.標準膜厚：30±5μm